



たからを こうせに うけつぐ ちいき づくり
宝を後世に受け継ぐ地域づくり

第2期田河津地域づくり計画書

令和6年5月策定



田河津振興会

○私たちの地域づくり

「協働のまちづくり宣言」、それは、平成 20 年の出来事でした。

合併し、市域が広がった一関市の新しい「まちづくりの施策」として掲げたことから、一関市の「協働」は始まります。

しかし、「協働」というのは簡単。でも、「何を、どう具体的に進めるのか？」は手探りで、「協働の勉強会」を開催しつつ、市民委員と行政委員がともに「一関市の協働とは？」を 2 年間議論した結果、平成 23 年に「一関市協働推進アクションプラン」を策定しました。同プランでは、一関市の「協働」を「協働の主体である市民組織、企業、行政がお互いの立場を尊重し、公共的、公益的な活動を継続的な話し合いと合意により、協力して行動すること」と定義しています。

平成 25 年には、「一関市地域協働推進計画」を検討・策定し、各市民センター単位で「地域協働体」が設立され、地域課題の掘り起しやその解決策等の話し合いを進めながら「地域づくり計画」を策定。その後、その計画をもとに市民センターを拠点として地域の特色を活かした地域づくりと課題解決が進められてきました。

一方で、時間の経過とともに、目的意識の変化や人口減少と少子高齢化の進行など、社会情勢が大きく変動しており、地域が抱える課題や市民ニーズも多様化が進んでいます。誰もが想像しなかった新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの生活に不安をもたらしました。

このように新たな課題やさまざまな市民ニーズに対応していくためには、多様な担い手がそれぞれの特性を活かしながら、市民と行政が協力し課題解決に取り組むことがますます必要になっています。

一関市では、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、社会情勢の変化に対応した「協働のまちづくり」をより一層推進するため、一関市協働推進アクションプランを見直し、「目指すまちの姿、協働の考え方、協働の取組の基本方針」を引き継ぎつつ、その名称を「一関市協働基本計画」に改めました。平成 30 年には、一関市総合計画との整合性を図り、「第 2 次一関市地域協働推進計画」により地域協働体をはじめ地域協働の推進を強化してきましたが、地域協働だけの推進ではなく広義の協働推進が急務であることから令和 6 年 4 月「第 3 次一関市協働推進計画」と名称を変更し、「協働のための仕組みづくり」に加え「人づくり」及び「環境づくり」に一体的に取り組み、協働のまちづくりをさらに推し進めていく必要があると考えています。

私たちの田河津地域も、近い将来、今より人口が減り、集落の規模や地域運営の仕方が変わることが予想されることから、第 2 期田河津地域づくり計画を策定し、協働の手法を用いて人が少なくても支え支えられ安心して暮らし続けられる地域にしていきます。

○残しておきたい 良いところ

1 コミュニティ

「笑顔が広がる地域の絆を大切に」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 人情味豊かな地域性がある。	1. 少子高齢化が加速し、自治会等で開催する夏祭りや花壇の手入れなど、身近な事業の継続が課題となってきた。
○ 自治会などの活動が地域の支えになっている。	2. かつては、未就学児と高齢者の交流事業があり、お互いの顔が見える環境だったが、田河津児童館の閉園に伴い交流や昔遊びの伝承などの機会が減った。 また、人口減などにより世代間の交流の機会が減ってきたため、世相など情報交換の場や共有する場が不足している。
○ 地域の行事は世代を問わず交流している。	3. 子どもたちや若者が楽しめる交流活動が少なくなってしまう、さらに若者の流出や子どもの減少を加速させている。

2 安心・安全

「一緒に築こう安全な地域」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 安心・安全に関する意識が高く、東山消防団による火災予防啓発運動や交通安全協会による安全運転の街頭指導運動が展開されている。	1. 一人暮らし高齢者や老々世帯は増加傾向にあり、高齢者が何に困っているか、ニーズを把握しきれていない。 2. 高齢者世帯が増えたことで、後々空き家の増加につながり、その管理などの課題がある。また、空き家が増加することで、倒壊や有害鳥獣の住処になるなど、豊かな自然が荒れていく恐れがある。
○ 集落行政区ごとに道路の草刈りなど、環境整備が行われている。	3. 市で作成した防災マップは、法律に基づいて作成されているので、地域の実情と合わせるための確認が必要となっている。 また、安心・安全マップは古くなってきたので、見直しが必要になっている。
○ 隣近所、行政区内で高齢者の見守りを行っている。	4. 安心・安全に係る若い世代の交流の機会が減っている。



夏休み防犯・交通安全教室

3 インフラ

「暮らしを支え未来へつなぐインフラ整備」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 公道の歩道箇所を個人の方が自主的に除雪している。 ○ 自治会活動で公道の草刈業務を行っている。 ○ 春と秋の一斉清掃では、自治会で道路のゴミ拾いを行っている。	1. 高齢化による体力の衰えなどで、公共交通を利用したくともバス停まで歩くことが困難な人がいる。 また、路線バスからデマンド交通に移行するため、住民への周知が課題となっている。 2. 高齢者の一人暮らし世帯や老々世帯は、悪質な電話等に対応する情報の入手が困難なため、詐欺などの被害にあわないか心配。情報提供など詐欺対策の支援が必要となっている。 3. 水道や浄化槽設備の整備が課題となっている。

4 子どもの健全育成・教育

「夢を持ち希望に輝く人づくり」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 子どもの健全育成のために各世代の連携がある。 ○ スキー・スノーボードなど他地域にはない世代間交流がある。 ○ 自然環境が良く、静かなのでストレスが少ない。	1. 少子高齢化が顕著になり、地域行事等が減少したことで、子ども会活動の機会も減っている。 また、田河津児童館が閉園となり、子どもたちが集まって遊ぶ場所がなくなった。 2. 昔に比べると地域との交流(世代間交流)の機会が減少しており、子どもたちの思い出(心に残る活動)づくりができていない。

5 保健・医療・福祉

「心と体を守る健康づくり」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 百歳体操と毎月のサロン活動は参加者が多く定着している。 ○ 幸せ感じる地域の暮らし事業(買い物支援)を実施している。 ○ 集落でサロン活動をしている。	1. 後期高齢者の移動手段として、公共交通を利用するには不便なところがある。 2. 今後増々一人暮らしの高齢者が増えることが予想され、地域全体で見守りが必要になってくる。 3. サロン活動が未実施、又は、中断した集落がある。

6 仕事・働く

「仕事で輝く地域づくり」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 近隣市町の企業(勤務地)までのアクセスが良好であり、地区内の勤務地も比較的多い。 ○ 特技や技術を持った高齢者がたくさんいる。 ○ 移住して農地を活用している人がいる。	1. 地元企業の企業情報や求人情報が不足している。 2. 地域の魅力についての情報発信と定住促進対策が必要となっている。 3. 高齢者(ベテラン農家)の技術継承や、耕作放棄された農地などを活用する機会がない。また、新規就農の初期投資や継続には農業機械などのコストがかかる。 4. 農業の後継者不足で、不要になった農機具等が増えている。 5. 後継者のいない世帯では、夏場の草刈りや冬場の除雪が困難になってきている。

7 文化・歴史

「文化が香り歴史を織りなす地域づくり」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 地域外からの田河津の歴史的資料の問合せなどに、里めぐり事業の資料を活用している。 ○ 田河津地区には、語り継ぐべき優れた文化・歴史がたくさんある。 ○ 昔の農機具など“お宝”の農具が各家で眠っている。 ○ 和紙や硯など伝統工芸がある。	1. 語り継ぐべき歴史・文化を継承するための場がない。 2. 田河津の歴史的産業(炭焼き、硯、東山和紙、農耕)に関わる農機具(道具)の保管や展示、用途の伝承が必要となっている。 また、現存している昔ながらの農機具の保管・管理などについて検討が必要になっている。



紫雲石の硯

8 自然・観光

「地球と心がつながる地域づくり」

残しておきたい良いところ	現 状 課 題
○ 資源ごみの回収協力ができてる。 ○ 山や川など四季折々の美しい景観に恵まれ、自宅でホタル観察ができるほど豊かな自然が残っている。	1.集落の住民が少なくなり各種行事だけでなく、自然環境を守るための草刈りなど、自然環境保護活動の継続が困難になってきている。 2.ゴミの不法投棄への対策が必要となっている。



束稲友好の絆事業で設置された看板



月山神社の梵鐘



藤壺の滝

○地域づくりの実行推進

地域づくり計画の実行を推進するため、「田河津地域づくり懇談会」を行う。

事業実施に当たっては、地域の自治会など各種団体と連携を図りながら一関市地域づくり交付金を活用した事業を展開する。

生涯学習や社会教育の各種事業と連携した地域づくり活動や地域づくりの拠点を確保するため、田河津市民センターの指定管理を行う。

1 コミュニティ 「笑顔が広がる地域の絆を大切に」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 少子化対策 →子ども会・育成会事業の広域での開催を推進する。	1-1 自治会、子ども会・育成会	1 話し合いの機会をもつ
1-2 地域行事の継続 →自治会活動と地元企業との連携を推進する。	1-2 自治会、企業	
2-1 世代間交流で地域の安心・安全も一緒に確認する。 →定期的に交流を深めながら地域の安心安全に繋がる拠点(空き家等)を検討する。	2-1 ※1 教振、自治会	2 参加協力、声掛け、話し合いの機会をもつ
3-1 田河津のいいところ伝承活動 →里山の良さ、人の温かさを次世代に継承していくしくみ(人材バンク等)を検討する。	3-1 教振	3 情報収集、話し合いの機会をもつ
3-2 「田河津に残る」を支える活動 →子どもたちが地域に残る、もしくは戻って来れるようなしくみを検討する。	3-2 教振、自治会	



地域行事での世代間交流

2 安全安心 「一緒に築こう安全な地域」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 高齢者の現状把握と対策 →高齢者の意見を把握し、これから必要となってくる地域ならではの支援は何か検討していく。	1-1 ※2 社協、自治会、老人クラブ	1 高齢者の現状やニーズの把握(アンケート等の実施、地域の応援協力や周知)
2-1 空き家の活用検討 →空き家の調査・再利用について検討し、市の空き家バンクを活用する。	2-1 防犯協会、警察、自治会	2-1 空き家情報や空き家の利活用情報の話題提供
2-2 有害鳥獣対策 →有害鳥獣対策を検討する。	2-2 自治会、猟友会	2-2 空き家の情報提供や駆除をする際の協力
3-1 防災対策 →田河津見える化マップ(防災マップや安心・安全マップ等)の作成を検討する。 →田河津地域に係る安心・安全対策を協議する。	3-1 消防団、消防署、自治会	3 防災マップを活用した現状の把握
4-1 安心・安全につながる交流の場づくり →若者が参加しやすい環境をつくり、若者の声を吸い上げる場を検討する。	4-1 自治会	4 参加協力



防災・減災研修会



幸せ感じる地域の暮らし事業
(移動販売による買い物支援)

3 インフラ 「暮らしを支え未来へつなぐインフラ整備」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 公道や公共交通の整備について話し合う →自治会等で道路改良や公共交通について、住民のニーズを把握する機会をもつ。	1-1 行政、自治会	1 住民の意見を聞く(区長、自治会長)、情報の提供
2-1 詐欺電話への対策 →悪質電話、アポ電へ注意を促す取り組みとして、子ども会とタイアップし、詐欺被害の防止を啓発するポスター等を制作し、高齢者世帯へ配布する。	2-1 自治会、育成会、警察、民生委員、行政区長	2 住民のニーズを把握し、行政に繋ぐ
3-1 水道・浄化槽の整備 →生活用水の確保や浄化槽設備の設置について、市の助成制度の活用など、情報提供の機会をもうける。	3-1 行政、自治会	3 市の助成制度の情報提供



整備が進む 道路改良工事
(市道丸木舞川線)

4 子どもの健全育成・教育「夢を持ち希望に輝く人づくり」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 子ども会と地域の連携 →子ども会の事業等を地域 とともに出来るように推進 する。	1-1 教振	1 話し合いの機会をもつ、教 振との連携
2-1 世代間交流の活性化 →老人クラブとの交流など、 世代間交流活動を継続す る。	2-1 教振	2-1 市セ事業等、参加、教 振との連携
2-2 子ども会で、田河津市 民センター等を活用した事 業を推進する。 →地域の拠点施設を活用し、 地域全体で子どもたちの 健全育成を見守る。	2-2 自治会、子ども会	2-2 話し合いの機会をも つ、参加、教振との連携



多幸's(たこうづ)ちいさな雪まつり
(教育振興運動田河津実践区活動)



5 保健・医療・福祉「心と体を守る健康づくり」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 高齢者の健康づくり →年齢問わず参加できるスポーツを普及する。 →生活支援コーディネーターに地域の悩みを伝えるしくみを作り情報を共有する。	1-1 行政、※3 体協、社協、老人クラブ、各サロン	1 社協へ困りごと(困っている人)の情報提供・共有
2-1 高齢者の居場所づくり →市民センター等を活用した高齢者の居場所づくりを検討する。	2-1 行政、社協、各種団体(サロン等)	2-1 手伝いやボランティア
2-2 高齢者の見守り活動 →隣近所から集落全体へ範囲を広げ、見守りを行う。有事の際の「誰が誰に」「何をどうする」を再度確認し、常に顔の見える支援ができるように検討する。	2-2 自治会、行政区長、民生委員、社協	2-2 情報共有
3-1 全自治会でサロン活動ができるように支援する。	3-1 社協、自治会、行政区長、民生委員	3 手伝いやボランティア



いきいきサロンでの交流



田河津パークゴルフ場の整備
(いちのせき元気な地域づくり事業を活用)

6 仕事・働く「仕事で輝く地域づくり」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 地元企業とのコミュニケーション →求める人材等は何か、地元企業からの意見を聞くしくみづくりを検討する。	1-1 行政、その他団体	1 企業紹介や場所提供、情報収集、子どもたちの工場見学
2-1 IT を使った農業生産のノウハウを学ぶ →IT を活用した、農業の効率化などを学ぶ機会をもうける。	2-1 農業関係団体	2 ※4市セ事業等で周知、参加
3-1 高齢者のスキルを活かした活動 →特技を持った高齢者の情報収集を行う。	3-1 自治会	3 情報提供(自薦、他薦)
4-1 農機具バンクの設置 →他地域の取り組みを参考に、田河津ならではの農機具バンクのしくみを検討する。	4-1 農家組合	4 情報収集
5-1 田河津お困りお助け隊の検討 →夏場の草刈りや冬場の除雪など、個人では担いきれなくなった箇所や世帯を把握し、地域全体で取り組めるしくみを推進する。	5-1 自治会、企業	5 情報収集、協力



束稲山麓に整備された太陽光発電所

7 文化・歴史「文化が香り歴史を織りなす地域づくり」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1. 田河津の歴史を語り継ぐ活動 →歴史勉強の場と体験学習の機会を検討する。	1-1 各種団体	1 マップ作り、史跡巡り、参加
2-1 伝統工芸のお宝道具保存 →眠っているお宝道具の調査・リスト化を検討する。	2-1 各種団体	2 情報収集

菅公夫人の墓



8 自然・環境「地球と心がつながる地域づくり」

取り組み	連 携	協働(関わり方)
1-1 自然豊かな田河津を次世代に継承 →自然環境を現状維持できるよう更なる協力体制を推進する。	1-1 ※5公衛連、行政、自治会	1-1 参加協力
1-2 自然保護への関心を高める →自然保護に関する共通理解を図り、外来種に対する勉強会を検討する。	1-2 行政、自治会	1-2 参加協力
2-1 ゴミの不法投棄対策 →ポイ捨てや粗大ごみの不法投棄への注意喚起をうながす。	2-1 公衛連、行政	2 ポスター・看板等の作成 (子ども会に依頼)

「川底洞穴」江戸時代の紀行家菅江真澄が訪れ
中国桃源郷を思い浮かべた



注記

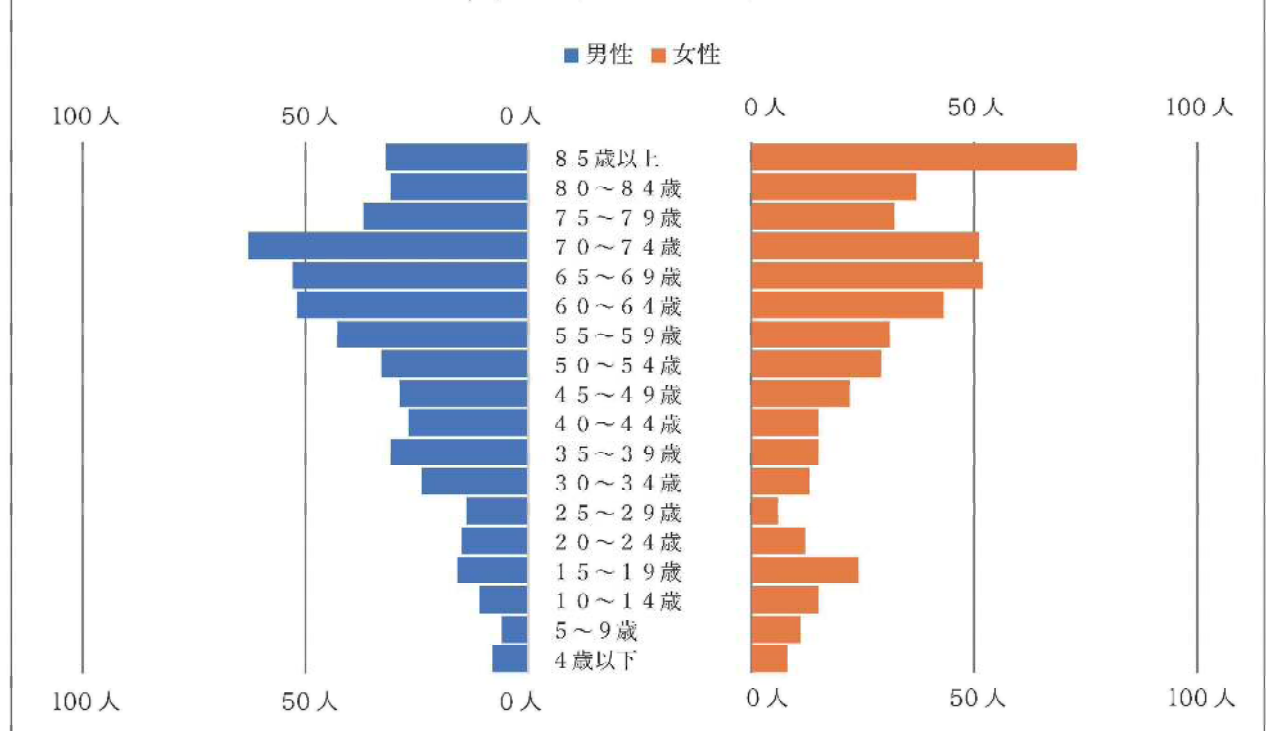
- ※1教振…田河津地区教育振興実践区
- ※2社協…一関市社会福祉協議会
- ※3体協…一関市体育協会
- ※4市セ…田河津市民センター
- ※5公衛連…公衆衛生組合連合会

田河津地区行政区別年齢別人口

(令和6年3月31日付け住民基本台帳より ※外国人含む)

行政区	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	合計
世帯数	55	29	37	47	66	48	38	45	365
人 口	171	73	113	134	170	110	123	120	1,014
80歳以上 合計	28	12	18	23	34	15	17	26	173
限界率 (80歳以上)	16.4%	16.4%	15.9%	17.2%	20.0%	13.6%	13.8%	21.7%	17.1%
65歳以上 合計	73	38	45	60	71	56	57	61	461
限界率 (65歳以上)	42.7%	52.1%	39.8%	44.8%	41.8%	50.9%	46.3%	50.8%	45.5%
55歳以上 合計	102	51	60	86	101	75	70	85	630
準限界率	59.6%	69.9%	53.1%	64.2%	59.4%	68.2%	56.9%	70.8%	62.1%
若年世代 (20～44)	33	8	19	29	32	15	16	20	172
若年率	18.4%	11.0%	16.8%	21.6%	18.8%	13.6%	13.0%	16.7%	17.0%
14歳以下 合計	12	3	14	4	8	1	9	8	59
少子率	7.0%	4.1%	12.4%	3.0%	4.7%	0.9%	7.3%	6.7%	5.8%

人口ピラミッドグラフ



田河津地域づくり計画の見直し検討委員会開催状況

	期 日	内 容
第1回	令和4年 8 月 2 日(月)	研修会「協働の地域づくりについて」
第2回	8 月25日(木)	ワークショップ ・デマンドタクシーについて ・「具体的な取組項目」の情報交換
第3回	9 月27日(火)	ワークショップ ・「具体的な取組項目」の情報交換
第4回	10月18日(火)	ワークショップ ・「具体的な取組項目」の情報交換
第5回	11月24日(木)	ワークショップ ・「具体的な取組項目」の共有 ・計画の達成度について
第6回	12月 6 日(火)	ワークショップ ・「具体的な取組項目」の共有 ・計画の達成度について
第7回	令和5年 2 月16日(木)	ワークショップ(分野別検討会) コミュニティ、保健・医療・福祉、 文化・歴史・自然・環境、インフラ
	2 月17日(金)	ワークショップ(分野別検討会) 子どもの健全育成・教育、 仕事・働く、安心・安全
第8回	3 月 7 日(火)	ワークショップ(分野別検討会) 子どもの健全育成・教育、 仕事・働く、安心・安全
	3 月10日(金)	ワークショップ(分野別検討会) コミュニティ、保健・医療・福祉、 文化・歴史・自然・環境、インフラ
第9回	7 月11日(火)	ワークショップ(午前の部) ・意見のまとめ
		ワークショップ(夜の部) ・意見のまとめ
第10回	8 月22日(火)	ワークショップ(午前の部) ・第 9 回検討会議のふりかえり ・旧児童館・公民館の利活用について
		ワークショップ(夜の部) ・第 9 回検討会議のふりかえり ・旧児童館・公民館の利活用について
第11回	令和6年 2 月20日(木)	計画書のまとめ

私たちも地域づくり

おかげさまで創立50周年

紙・パルプ・スレート用その他工業用フェルト製造



東山フェルト株式会社

代表取締役 小川 勝也 取締役工場長 清水 郁夫

本社・工場：一関市東山町田河津字野土88-1

☎ 0191-47-2511(代) FAX 0191-47-2510



EPSEL

Electric Power Saving Energy Laboratory
～電力省エネ研究所～

株式会社エプセル

再エネ事業

- 設計～施工～メンテナンス
- 自家消費型太陽光システム
- 発電監視システム「SiMaS」
- リチウムイオン蓄電システム



導入の東稲発電所



〒029-0301
岩手県一関市東山町田河津字持腰1-91
TEL 0191-35-3051 FAX 0191-35-3052
URL <https://epsel.co.jp>



限りある資源を
いつまでも大切に

各種解体から最終処分まで

木材・コンクリート廃材・アスファルト廃材の再資源化

有限会社 中村解体



一関市東山町田河津字野土81-2



(0191)35-1130 FAX (0191)35-1131



地域の魅力を引き出す、最適な印刷ソリューション

東山印刷

一関市東山町長坂字南山谷89 代表 佐藤己義
TEL (0191) 47-3551 FAX (0191) 47-3220

砕石生産販売

有限会社 藤栄興業

本社 〒021-0221 岩手県一関市舞川字馬洗湖82-20
TEL (0191) 28-2351 FAX 28-2285
小田岡工場 〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字小沼19-1
TEL (0191) 47-4855 FAX 47-4353

自動車運送取扱事業

一般貨物自動車運送業

宮石運輸株式会社

岩手営業所

東山町田河津字横沢263-12

TEL 0191-47-3924

を応援します

 ～プラスチックで『未来』を創る～

株式会社タイセイプラス 東北工場・東山

一関市東山町田河津字石ノ森126-2 

TEL(0191)47-4153 FAX(0191)47-4143

岩手県一関市東山町長坂字羽根堀 182 番地の1

長坂自動車工業株式会社

TEL (0191) 47-3332
FAX (0191) 47-4450

 鉄骨・橋梁・足場・解体・プラント工事・機械修理

有限会社 佐登工業

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字矢ノ森119-1-1
TEL(0191)47-3209/FAX(0191)47-4406

げいび清流米の里

農業生産法人 **合同会社 田舎モノ**

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字田の萱 58 
TEL (0191) 47-2765 FAX (0191) 47-2769
E-mail: okome@81-4153.com

墓石マート

(有) 新生

本社：一関市奥菜字 矢ノ目沢64-176

一関店 ☎0191(21)3120
水沢店 ☎0197(22)5502
北上店 ☎0197(77)5222
気仙沼店 ☎0226(48)5506
一関黒国 ☎0191(31)3110
みんなの墓 ☎0191(31)3110



新生なら
とびきり美しい
「ラクラク」
鉄像

新生特許墓石
「千年の祈り」なら女性1人でも
ラクラク納骨できます。

★お墓はステンレス製
※お墓はステンレス製がおすすめです。

☐お墓の大きさや形状が異なります。お墓の大きさや形状が異なります。
☐お墓の大きさや形状が異なります。お墓の大きさや形状が異なります。

塗装 / 塗装機器 塗装設備施工
金属・樹脂塗装 完全な塗膜になる迄のお手伝い

治 株式会社 えびすや

本 社 〒023-0045 水沢字大町21番地
TEL (0197) 24-8241
FAX (0197) 25-8233

抜き・曲げ・溶接・金属加工を柔軟に対応！

株式会社ユーティーエー東山

代表取締役 千葉 正和

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字野土 143-4
TEL : 0191-35-1236 FAX : 0191-47-3166

顧客満足度の向上と高品質の実現を目指す

 **南部鉄工建設有限公司**

代表取締役 佐藤 正一郎

〒029-0301

本 社 岩手県一関市東山町田河津字高金 95 番地 1
TEL 0191-47-4007 FAX 0191-47-3929

石ノ森工場 一関市東山町田河津字石ノ森 177 番地 8
TEL 0191-35-3710 FAX 0191-35-3711

 
ISO9001:2015 認証取得



東稻山を京の東山になぞらえ、全山に桜を植えたといわれています。
「聞きもせず たわしね山の 櫻はな 吉野のほかに かかるべしとは」
西行法師（山家集）
東磐井郡が東山と称せられたのは、平泉藤原時代の名残で東山町の由来。

田河津振興会

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字石ノ森 16-8
一関市田河津市民センター 内
電話/FAX 0191-47-2349
Email: info@takoudu-s.jp
Facebook: 振興会たこうづ

LINE はこちらから

